

乳幼児鼻用吸引嘴管 アマツ式

【警告】

- ・ 本製品は取扱いに注意し、衝撃を加えたり、曲げる様なことはしないこと。
[人体への影響および製品の劣化・破損の原因になる]
- ・ 本製品は、未滅菌品です。使用には必ず洗浄・滅菌を行なうこと。
組合せ製品に関しては必ず分解して洗浄・滅菌を行うこと。
[洗浄・滅菌効果が損なわれ、尚且つ破損の原因となる]
- ・ 製品の使用にあたっては、使用上の性能・性質をご理解の上、不適当な目的に使用しないこと。
[人体への影響および製品の劣化・破損の原因になる]
- ・ 樹脂及びゴム類はどの滅菌方法においても、使用方法／使用頻度／使用薬液等で必ず劣化が起こります。
- ・ 本商品は、アマツ式用ヘ型吸引管短管とアマツ式吸引先チューブを必ず接続してご使用してください。部品単体でのご使用はしないでください。

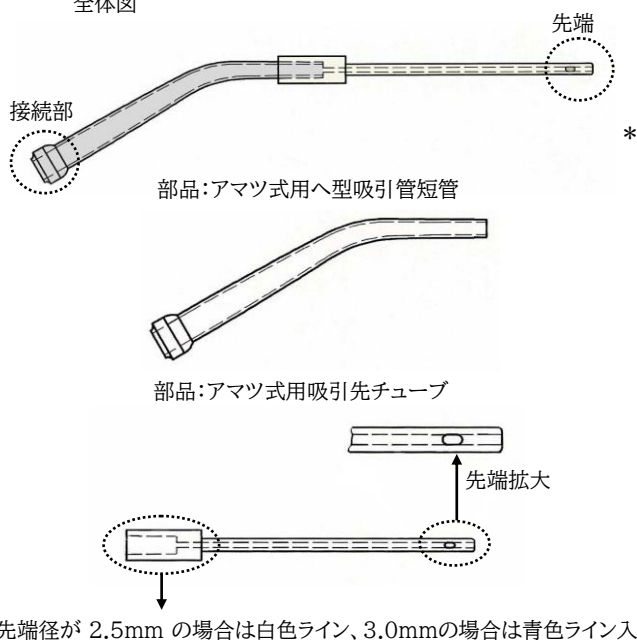
【禁忌・禁止】

- ・ 本製品の加工、改造等は絶対行わないこと。製品に衝撃を加えたり、変形させたり、加工・打刻等の二次加工は行わないこと。
[製品を著しく劣化・消耗させ、故障・破損の原因になる]
- ・ 洗浄前の一次消毒は行わないこと。
[付着物の変性固着により洗浄・滅菌効果が損なわれる]
- ・ 酸・アルカリ・塩素系の強い洗浄剤および消毒液は使用しないこと。
[製品の劣化・腐食を促進させることになる]
- ・ 磨き粉や金属ウール等での器具の表面を磨くことはしないこと。
[製品表面のキズ・損傷・腐食の原因になる]
- ・ 洗浄後、水・蒸留水等のついた状態で長時間放置しないこと。
[製品表面の腐食・変色・シミの原因になる]

*【形状・構造及び原理等】

形 状：

全体図



材質:黄銅・シリコン
メッキ:クロムメッキ(金属部分)

*【使用目的又は効果】

刃先を有しない針で、鼻腔の異物、汚物の吸引並びに薬液の吸引などに用いる器具である。本製品は再使用可能である。

*【使用方法等】

主に乳幼児を対象として使用し、耳鼻咽喉科用ユニット等の器械に備わっている吸引チューブ(ゴム管)と接続させ、先端を鼻から挿入し、先端2孔(先孔・側孔)から鼻腔内分泌物の吸引並びに薬液の吸引を行う。

*【使用上の注意】

- ・ 本製品は、未滅菌品である。使用前には適切な条件で必ず洗浄・滅菌をすること。(保守・点検に係る事項参照)
- ・ 使用開始時や再滅菌して繰り返し使用する際は、高圧蒸気滅菌・プラズマ滅菌・EOG 滅菌が可能である。
- ・ 「吸引先チューブ」はシリコン製である。耐熱及び耐薬性だが、傷が生じた場合や変色により分泌物が見えにくい場合などは、直ちに破棄すること。
[材質劣化により千切れる可能性がある]
- ・ 「吸引先チューブ」は、水漏れ等の異常が認められた場合には直ちに使用を中止すること。

*【保管方法及び有効期間等】

- ・ 貯蔵・保管の際は、水気や薬品に晒されないようにすること。
- ・ 「吸引先チューブ」については、直射日光、高温多湿、水漏れを避けて冷暗所にて保管すること。
- ・ 洗浄後に貯蔵・保管する際は、保管期間の長短にかかわらず必ず乾燥させること。
[器具表層面への腐食・変色・シミの原因となる]
- ・ 高圧蒸気滅菌後は十分に乾燥させてから保管すること。
- ・ 保管の際は、硬い物への接触や衝撃を避けること。
[変形や損傷の原因となる]

*【保守・点検に係る事項】

<洗浄>

- ・ 磨き粉や金属ウール等で器具の表面を磨くことはしないこと。
- ・ 使用後は付着した血液・体液・組織及び薬液等が乾燥する前に速やかに洗浄すること。
- ・ 塩素系の洗浄剤および消毒液は使用しないこと。洗浄剤および消毒液は弱酸性～弱アルカリ性(≒pH6～8)のものを使用すること。[塩素系、強アルカリ性、強酸性の薬液は、素材表面の不動態膜を破壊し、錆や孔食による器具の破損につながる]
- ・ 洗浄装置(超音波洗浄装置・ウォッシャー・ディスインフェクター等)を使用する際は、器具同士が接触して損傷することがないように注意すること。
- ・ 洗剤の残留がないように十分にすすぎを行うこと。
- ・ 水道水により洗浄を行った場合、残渣除去のため洗浄後に精製水(蒸留水や脱イオン水)ですすぐことを推奨する。
[水道水の中には含まれる残留塩素及び有機物質が腐食・変色・シミの原因となる]
- ・ 洗浄後は直ちに滅菌を行うか、または直ちに乾燥させること。
- ・ 洗浄時は「吸引先チューブ」が折れ曲がらないように注意すること。
[血液、体液、組織及び薬液が残留する原因となる]

<消毒>

- ・ 洗浄前の一次消毒は行わないこと。
[付着物の変形固着により洗浄・滅菌効果が損なわれる]

<滅菌>

- ・ 滅菌前には、汚れ・損傷等が無い点検すること。
また、点検後に適切な条件で必ず滅菌を行うこと。
- ・ 高圧蒸気滅菌を行う場合、水道水ではなく精製水(蒸留水、脱イオン水等)を使用すること。
- ・ 滅菌時は「吸引先チューブ」が折れ曲がらないように注意すること。
[血液、体液、組織及び薬液が残留する原因となる]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:永島医科器械株式会社
TEL.03-3812-1271



製造業者:永島医科器械株式会社 第三工場